

藤 玉

第 18 号

玉 藻 第十八号 目次

土地柄と人心	
— 西鶴の認識の一つの型・その時代との関わり —	藤 江 峰 夫…………… 1
定家の恋歌に於けることばの使い方……………	本 池 有 子…………… 10
神奈川県下に現存する湯立神楽の変容	
— 特に「職掌」の関与する神楽について —	渡 部 ますみ…………… 33
元禄歌舞伎における「写実」の芸について	
— 『役者論語』の芸論をめぐって —	田 口 章 子…………… 46
「ロマネスク」論	
— 太宰治の求めたもの —	佐 藤 朋 子…………… 55
彙報・昭和五十六年度卒業論文題目……………	64

玉 藻 第十八号

昭和五十七年七月二日 印刷

昭和五十七年七月七日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会
発行人 代表者 小 泉 和

印刷所 ヨシダ印刷 両国工場

発行所 フェリス女学院大学国文学会
横浜市中区山手町三七